

◆**学究決定版・完結**◆

翻刻・注釈版

アーネスト・サトウ日記

●**好評発売中**●

—幕末維新时期編— 全1巻

The Diaries of Sir Ernest Mason Satow, 1861-1869

—明治前期編— 全1巻

The Diaries of Sir Ernest Mason Satow, 1870-83

—駐清公使時代編— 全2巻

The Diaries of Sir Ernest Satow,
British Envoy in Peking (1900-06), 2 volumes

—日露終戦、第2回ハーグ平和会議から
第一次世界大戦へ— 全1巻

The Diaries of Sir Ernest Mason Satow, 1906-1911



Eureka Press

十九世紀、二十世紀初頭の国際政治に大きな足跡を残した英国外交官
アーネスト・サトウの日記。日本・極東アジア関連日記の全文翻刻に、
詳しい注釈・解説と英国の日本・アジア近代史研究第一人者の序文を
加えた学究決定版—全巻図書館向けクロス装にて、ついに完結。

- ◆『一外交官の見た明治維新』(坂田精一訳、岩波文庫、1960年)、『遠い崖』萩原延壽著(朝日新聞社)などで日本でも知られるアーネスト・サトウの日記の手稿を英文翻刻し、詳細な註釈と関連資料などを付加し公刊するシリーズが完結。
- ◆英国公文書館所蔵のサトウ資料中の、英国人外交官サトウの活動の中心であった日本と中国、そして引退後、英国・ヨーロッパでアジアや国際政治と関わった日々を全6巻に網羅、各巻にイアン・ニッシュ、ヒュー・コータッツィなど日英関係史の専門家による序文入り。

翻刻・注釈版 **アーネスト・サトウ日記** —幕末維新时期編— 全1巻

The Diaries of Sir Ernest Mason Satow, 1861-1869

<Series: Collected Works of Japanologists>

編集・解説：ロバート・モートン(中央大学教授) & イアン・ラックストン(九州工業大学教授)
序文：デイヴィッド・ウォーレン(前駐日英国大使)

2013年11月刊行 B5判・約400頁 上製(クロス装) 本体価：¥29,800-(+税) ISBN：978-4-902454-83-3

- アーネスト・サトウ(Ernest Mason Satow, 1843-1929)の、初来日の直前から明治政府成立後までの日記の英文翻刻版。英国公文書館所蔵のサトウ日記手稿を完全翻刻、編者による詳細な註釈を付す。
- 特に註釈でのサトウの主著 *A Diplomat in Japan* (邦訳『一外交官の見た明治維新』(岩波文庫))中の記述との比較は、今後の研究に有用。
- 日記の原本に貼付されている図版や写真も一部掲載。
- 来日直後に勃発した生麦事件、薩英戦争や下関戦争、そして西郷隆盛、桂小五郎など明治維新の要人との会談、明治天皇との謁見、日本各地への旅行などの詳細を記した貴重な生の記録。



<北海道訪問時の日記より>

翻刻・注釈版

アーネスト・サトウ日記 (1870-83) —明治前期編— 全1巻

The Diaries of Sir Ernest Mason Satow, 1870-83

<Series: Collected Works of Japanologists>

編集・解説：イアン・ラックストン(九州工業大学教授) / 序文：ヒュー・コータッツィ(元駐日英国大使)

2015年11月刊行 B5判・約525頁 上製(クロス装) 本体価：¥34,800-(+税) ISBN：978-4-902454-95-6

- 賜暇にて1869年に帰国したサトウが再来日する1870年から、総領事代理としてタイに赴任する1883年までの日記。
- 駐日英国代理公使アダムズを支え、西郷隆盛、木戸孝允、岩倉具視ら明治新政府の要人と面会し、不平等条約問題や日清修好条規など多くの外交交渉の場に立ち会い、キリスト教解禁や西南戦争など激動の明治前期を見つめた約13年の記録。
- この時期のサトウは、長男・栄太郎、次男・久吉(後の武田久吉)が生まれ日本での私生活も安定、日本各地を旅し『中部・北部日本旅行案内』(ホーズとの共著)を著すほか、日本研究者としてもジャパン・ウィークリー・メール紙や日本アジア協会誌などに多くの論文を発表、『英和口語辞典』(石橋政方との共著)や『馬場文英著：開国史談一名元治夢物語』(榎山野史著：近世史略(翻訳))の英訳出版を行うなど大きな功績を残した。

翻刻・注釈版

アーネスト・サトウ日記 (1900-06)

— 駐清公使時代編 — 全2巻

The Diaries of Sir Ernest Satow, British Envoy in Peking (1900-06), 2 volumes

<Series: Collected Works of Japanologists>

編集・解説：イアン・ラックストン（九州工業大学教授）

序文：ジェームズ・ホアー（元在北朝鮮英国臨時代理大使、ロンドン大学主席研究員）

2016年1月刊行 B5判・約761頁 上製（クロス装） 本体セット価：¥59,800-（+税） ISBN：978-4-902454-96-3

- 駐日特命全権公使としての日本での任務を終え、1900年に駐清公使として北京に赴任し1906年まで中国に滞在した期間の日記。
- 全権大使として義和団の乱鎮圧後の北京議定書調印に活躍、その後日英同盟の発効、対立から戦争へ至る激動の時代、中国、日本の外交官や政治家、軍人らとの会見など生の記録。



第2回ハーグ平和会議（万国平和会議）でのアーネスト・サトウ（本書図版より）



Map 1. China and the Powers, 1894-1905

サトウ日記原本に貼付されている
写真や地図などの図版も掲載

翻刻・注釈版

アーネスト・サトウ日記（1906-1911）：

日露終戦、第2回ハーグ平和会議から第一次世界大戦へ 全1巻

The Diaries of Sir Ernest Mason Satow, 1906-1911

<Series: Collected Works of Japanologists>

編集・解説：イアン・ラックストン（九州工業大学教授）／ 序文：イアン・ニッシュ（ロンドン大学名誉教授）

2015年9月刊行 B5判・約525頁（写真入り） 上製（クロス装）

本体価：¥34,800-（+税） ISBN：978-4-902454-94-9

- 外交官を退官し英国へ帰国した後の1906年～1911年の日記を収録。
- 駐清公使として外交官を引退後もサトウは、枢密院顧問官（1906年）や第2回ハーグ平和会議（万国平和会議）に英国代表次席公使（1907年）に選ばれ、国際法や国際問題の専門家として活躍。本書はサトウ研究者にとっても、未だ本格的な研究に至っていないこの時期に焦点を当てる。
- 日露終戦後の日英や国際関係にどのような視線と向けていたのか、第2回ハーグ平和会議や著名な「ハーグ密使事件」にはいかに関わったのか、等々、長く極東アジアで国際政治の表舞台にあった外交官が第一次大戦の足音が近づくイギリスで残した生の記録の初の公刊。



イアン・ラックストン編

翻刻・注釈版『アーネスト・サトウ日記』日本・極東アジア関連各巻明細

年代	日本語タイトル	ISBN	本体価	刊行状況
1861-1869	幕末維新时期編（全1巻） 共編：ロバート・モートン（中央大学教授） 序文：デイヴィッド・ウォーレン（前駐日英国大使）	978-4-902454-83-3	¥29,800	既刊・在庫
1870-1883	明治前期編（全1巻） 序文：ヒュー・コータツツィ（元駐日英国大使）	978-4-902454-95-6	¥34,800	2015年11月 既刊・在庫
1895-1900	駐日公使時代（全1巻） 序文：ナイジェル・ブレイリー（元ブリストル大学教授）	978-4-901481-06-9	—	既刊・品切れ
1900-1906	駐清公使時代編（全2巻） 序文：ジェイムズ・ホアー（元在朝鮮英国臨時代理大使）	978-4-902454-96-3	¥59,800	2016年1月 既刊・在庫
1906-1911	日露終戦、第2回ハーグ平和会議から 第一次世界大戦へ（全1巻） 序文：イアン・ニッシュ（ロンドン大学名誉教授）	978-4-902454-94-9	¥34,800	2015年9月 既刊・在庫



発行元：Eureka Press（ユーリカ・プレス）
c/o Edition Synapse（エディション・シナプス）

〒101-0047 東京都千代田区内神田2-8-5 山口ビル3F

Tel: 03(5296)9186 Fax: 03(3252)1822 <http://www.aplink.co.jp/synapse>

取り扱い書店：